

令和元年度
(2019年度)

土木部の運営方針

<部の構成>

土木政策課、道路河川管理課、道路河川整備課、みち・みどり室、交通対策課、用地課

<担当事務>

- (1) 道路及び交通に関すること。
- (2) 公園及び緑化に関すること。
- (3) 河川に関すること。
- (4) 里山の保全及び振興に関すること。

<部の職員数>H31年4月1日現在

正職員	111名
再任用職員	15名
任期付職員	-名
非常勤職員	3名
合計	129名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

土木部では、だれもが安全で安心して暮らすことができるまちをめざし、道路や公園、河川などの都市基盤整備を行うとともに、自転車の安全利用をはじめとする交通安全の啓発や、快適な生活空間を創造するためにみどりの保全や緑化の推進に取り組みます。

事業の実施にあたっては、その効果や緊急性などの優先度にも中長期的な視点も加え、選択と集中を行うとともに、国の社会資本整備総合交付金などを最大限に活用しながら進めます。

令和元年度(2019年度)は、総合交通計画に基づき施策を実施するとともに、枚方市駅など市内主要駅周辺の交通環境の改善、通学路の安全対策や自転車通行空間の創出など安全・安心な交通環境の実現に向けた取り組みを進めます。

また、本市の交通体系の軸となる都市計画道路や公園といった都市基盤整備を着実に進めるほか、まちなか緑化や公園緑地の利活用を推進するよう、みどりのプラットホームづくりに取り組みます。

2. 重点施策・事業

(1) 枚方市総合交通計画の推進

方向性

本市の将来都市像の実現を図る観点から、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策として、「枚方市総合交通計画」に基づいた施策の実施に取り組みます。

取り組み

枚方市総合交通計画に基づく施策を推進し、市民や各交通関係機関が参画する協議会を適宜開催し、進捗状況の確認や進め方について議論を行い、施策の進捗管理を行います。



平成31年度当初予算：500千円（総合交通計画推進事業経費）

(2) 都市計画道路の整備	
方向性	都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備に取り組みます。また、新名神高速道路やそのアクセス道路となる内里高野道線、淀川を渡る牧野高槻線等については、早期完成を大阪府や関係機関に働きかけます。
取り組み	本市の道路ネットワークの軸となる都市計画道路については、安全で円滑な交通環境の構築や緊急時の避難経路や輸送経路の強化を図るため、第二京阪道路へアクセスする牧野長尾線や長尾杉線、また、通学路等の安全な歩行空間の確保に繋がる御殿山小倉線や中振交野線の整備を計画的に進めます。 また、牧野高槻線の整備促進に向けて、周辺道路（市道）の将来交通量推計等の調査を進めます。
	平成 31 年度当初予算：1,338,890 千円（都市計画道路整備事業）、14,000 千円（枚方市北部地域周辺将来交通量推計等調査事業）

(3) 市内主要駅周辺の交通環境の改善	
方向性	市内主要駅（枚方市駅、御殿山駅、樟葉駅）周辺の交通混雑や公共交通の利用環境、また、安全・安心な歩行空間など、交通環境の改善に向け取り組みます。
取り組み	枚方市駅周辺については、枚方市駅周辺再整備ビジョンの将来像を見据え、枚方市総合文化芸術センターの開館に向け、歩道拡幅やエスカレーターの設定など、交通環境の基盤整備を進めます。 樟葉駅周辺については基本設計を完了し、引き続き駅前ロータリーの交通環境の改善に向けた詳細設計を進めます。また、御殿山駅周辺については、安全・安心な歩行空間の確保に向け、関係機関との協議や地域と協働・連携した取り組みを継続します。
	平成 31 年度当初予算：190,000 千円（枚方市駅周辺再整備事業）、25,000 千円（樟葉駅前ロータリー渋滞解消計画策定・推進事業）

(4) 安全・安心で快適な交通環境の創出	
方向性	安全・安心で快適な交通環境の創出を図るため、通学路の安全対策や安全な歩行空間、また、自転車通行空間の創出に向け取り組みます。
取り組み	通学路等の安全対策としては、安全な歩行空間の確保を図るため、「通学路交通安全プログラム」に基づき、新たに ETC 2.0 のビックデータを活用し、さらなる対策強化を図るとともに、津田第 1 号線の歩道整備や御殿山駅周辺等のバリアフリー化整備を進めます。長尾船橋線など、段差が大きい歩道については、改良に向けた検討、整備を進めるとともに、「枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画」に基づき、安全で快適な歩行空間及び自転車通行空間の確保に向けた整備を進めます。また、交通安全の向上を図るため、春日大峯線の交差点改良に向けた整備を進めます。

	平成 31 年度当初予算： 17,000 千円（津田第 1 号線道路拡幅整備工事）、30,000 千円（交通バリアフリー道路整備事業）、6,000 千円（春日大峯線道路拡幅事業）、33,000 千円（自転車通行空間整備事業）、62,138 千円（長尾船橋線道路空間再配分事業）
--	--

（５）安全な交通社会の実現	
方向性	市民に交通安全思想の普及、浸透を図り、交通事故を減少させることで、安全な交通社会の実現に向け取り組みます。
取り組み	子どもたちの交通事故防止を図るため、引き続き、全小学校において民間活力を活用しながら交通安全教室を実施し、中学校については、交通事故を再現することでより効果が見込まれるスクエアドストレート方式の自転車交通安全教室を平成 30 年度から 3 年間で全中学校において継続実施します。また、高齢者を対象とした交通安全教室を、引き続き試行実施します。 ≪目標値≫ 交通安全教室：小学校 45 校で実施 スクエアドストレート方式の自転車交通安全教室：中学校 5 校で実施 平成 31 年度当初予算：11,642 千円（交通安全教室実施委託料）

（６）道路・公園等の効率的・効果的な維持管理	
方向性	道路・公園等施設の安全性と機能性を維持するため策定した長寿命化計画に基づき、計画的な改修・更新を進めるとともに、効率的・効果的な維持管理を図ります。
取り組み	道路や公園などの機能や安全性を確保するため、橋梁・公園等施設の長寿命化計画に基づき、国の補助金を活用しながら更新、改築等を行うとともに、これらの施設の異常や支障箇所の早期発見を目的に各関係機関との連携や部内でも引き続き定期的なパトロールを行うなど、迅速な対応に努めます。また、安全な交通環境を確保するために、主要道路リフレッシュ事業を継続的に進めるとともに、道路照明灯、橋梁及びトンネルについても予防・保全の観点で点検を行います。道路長寿命化計画に基づき、道路施設点検及び舗装長寿命化修繕を行い、道路施設全般において効率的・効果的で持続可能な維持管理を促進します。準用河川については、適切な維持管理に対応するため、引き続き河川台帳整備を進めます。 ≪目標値≫ リフレッシュ整備事業 3 路線 L=830m 舗装長寿命化修繕事業 L=500m 河川台帳整備延長 5 路線全延長 10,407m 公園施設の更新、改築数 12 箇所 平成 31 年度当初予算： 10,000 千円（道路施設調査点検委託料）、9,680 千円（道路長寿命化計画策定経費）、88,000 千円（橋梁修繕・補強事業）、165,000 千円（主要道路リフレッシュ整備事業）、50,000 千円（公園施設長寿命化計画に基づく改築等事業経費）

(7) 公園の整備と緑地保全や緑化推進によるみどり豊かな都市環境の創造

目標	日常生活の中で自然とふれあい、親しめる場を確保するため、公園、緑道など緑地整備を進めます。また、みどりの基本計画や第2次里山保全基本計画に基づき、多くのみどりを育み、人々がみどりとふれあうことのできるまちづくりを進めます。
取り組み	星ヶ丘公園については、引き続き自然環境を生かした開設エリアの拡大に向けて整備を進めるとともに香里ヶ丘中央公園については、香里ヶ丘地域の活性化につなげることを目的に、図書館の建て替えと合わせた一体的な公園整備を進めます。また、王仁公園については、屋外プールの存廃を含めた公園施設全体を包括的にマネジメントする視点に立ち、官民連携の手法と実現可能性の検討を行います。 里山保全については、市民等による森林ボランティアや企業による環境貢献活動への支援や森林スペシャリスト育成講座などにより、里山の保全・活用を促進します。緑化推進については、まちなか緑化の推進や公園・緑地の利活用の促進を効率的、効果的に推進できるよう多様な主体が連携し、自らのため楽しみながら活動する基盤となる「みどりのプラットホーム」づくりを進めます。併せて、花と緑のまちづくり基金の効果的な活用方法を検討します。また、UR から移管を受けた桑ヶ谷公園に隣接する緑地において、子どもたちの冒険遊び場である「プレーパーク」を市民団体と協働して本格運営を行います。 <<目標値>> 公園整備面積：3,600 m ² （平成30年度からの継続目標） 里山保全活動団体の活動延べ日数：250日 みどりのプラットホームのメンバーが実施する催し回数：6回
	平成31年度当初予算：154,692千円（主要な公園整備（繰越含む）、2,467千円（里山保全）、2,000千円（みどりのプラットホーム設置・運営事業）

3. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
2. 来庁者・利用者用駐車場の有料化の実施	来庁者・利用者用駐車場の有料化に関する考え方を踏まえ、車塚公園、東部公園について、駐車場利用者への受益者負担やスムーズな駐車場利用など駐車場管理の適正化の観点から駐車場の有料化に向けて検討を進めます。 また、香里ヶ丘中央公園の駐車場の有料化については、図書館と公園の機能連携を図り、引き続き協議検討を進めます。
40. 指定管理者制度の拡大	都市公園内のスポーツ施設（王仁公園、中之池公園、香里ヶ丘中央公園）については、令和元年度（2019年度）から利用料金制を

	導入し指定管理者制度の更新を行いました。引き続き東部公園については、野球場やドッグランの利用状況を踏まえ、利活用について広く民間事業者の意見を聴きながら指定管理の移行に向けて検討を進めます。
44. 交通安全教室の委託化	枚方・交野両警察署と連携して取り組んでいる「交通安全教室」について、効率的・効果的な執行を図る観点から、引き続き、市立小学校（全45校）を対象に歩行・自転車交通安全教室を民間委託により実施します。
45-7. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（道路・河川・公園維持管理業務）	緊急時や災害時等における直営での業務執行体制を確保しつつ、より効率的な業務遂行が行えるよう民間活力の効果的な活用の検討を進めます。
52. 市内スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営	市長部局が所管する公園内のスポーツ施設については、当該施設のあり方も含めた課題の検証を行うなど、効率的・効果的な運営について検討を行います。

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
安全作業の徹底	「安全十則」や「安全作業の手引」、「労働安全衛生委員会」を活用し常時の安全確認と意識の啓発を行う。
公用車の事故防止	運転中の安全確認はもとより、道路上での作業における安全対策の意識の啓発を行います。
災害情報システムの活用	平常業務における道路・公園等の修繕依頼、要望等の受付に地図と連携した災害情報システムを活用することで、情報の一元化を行い、通報から現場対応までの円滑化を図ります。

4. 予算編成・執行

- ◆都市計画道路の整備、通学路の改良整備、主要道路リフレッシュ事業、道路・公園等施設の長寿命化計画に基づく更新、改築等については、国の交付金等を最大限に活用し、効率的に取り組みます。

	維持管理	建設事業	計
平成31年度 当初予算	13億3965万円	26億4835万円	39億8800万円

5. 組織運営・人材育成

- ◆道路・公園等の整備から維持管理まで一貫して所管する部として、各課間の連携を密にし、大規模災害時においても持続可能な体制を構築し、効率的・効果的に事務事業の執行を図ります。
- ◆災害時に万全の対応が取れるよう、災害対応訓練などによる検証を繰り返し、充実した態勢を整えます。
- ◆部内報や部内研修の充実などを通じて、各課の事務事業の共有化を促進し、意識・知識・見識など職員力のさらなる向上に取り組み、自律型職員の育成を図ります。
- ◆国・府への職員の派遣などを積極的に進めることで、多方面から行政事務処理及び建設事業実施に関する必要なノウハウを取得し、また、併せて他行政機関との人事交流を深めることで、的確で効果的な国費要望を行うとともに、新名神高速道路やその関連事業など広域的な事業調整の円滑化を図ります。

6. 広報・情報発信

《安全・安心》

- ◆市民への周知や普及啓発などの情報を正確かつ効果的に発信するため、部内各課のホームページに掲載する内容を精査するとともに、市民からの通報手段の拡充を図るため、通報アプリを試行運用するなど、更なる検討を進め、情報伝達のより一層の充実を行います。
- ◆土砂災害特別警戒区域に指定された区域内等の既存不適格住宅の移転や補強に対し、国や大阪府と連携して支援を行う補助制度について、指定区域の周知と併せて情報発信を行います。

《交通》

- ◆高齢者の交通安全意識の高揚を図るため、高齢者に向けた交通安全講習会の実施について、広く市民へ広報を行います。
- ◆交通に関する意識の醸成や地域と連携した交通施策の実施に向けて、出前講座を行うとともに、持続可能な交通を実現するため、市民や事業者とともに、公共交通の利用促進に向けた啓発を行います。

《イベント》

- ◆市民参加のイベント（緑化フェスティバル、菊花展、交通安全教室など）は、市民に参加を呼びかけるため、多数の機関にチラシの配布やポスター掲示などの協力を求めるとともに、フェイスブック、ツイッターなどの情報発信に努めます。また、プレーパークの取り組みについても広く市民へ情報発信を行います。
- ◆体験型のイベント（緑化講習会や里山ウォーキングなど）を通じ、取り組みや活動内容を身近に感じてもらい、みどりや里山に関する意識の向上に向けて啓発を行います。

